

いるまシルバーだより

公益社団法人 入間市シルバーパートナーセンター

平成 29 年 1 月号 第 90 号

市制施行50周年記念事業に参加

ワンテーマーマーク

地域班・焼そば担当
ハイキングの会参加



参加団体代表で記念扇子の受領と鏡割り式に事務局長が参加

地域班・三色もち・豚汁・甘さげ販売



地域班・三色もち・豚汁・甘さげ販売



わいわい会・フランクフルト・じゃがバタ・手芸品販売

万燈祭り

花火打ち上げに伴う
清掃作業協力：地域班



花火の打ち上げ！

**新年明けまして
おめでとうございます**

**代表理事 理事長 大坂 隆俊 (正会員)
副理事長 依田 成彦 (正会員)
業務執行理事 常務理事 森田 旭 (正会員)
阿部 美津子 (正会員)
小笠原 輝美 (正会員)
澤田 彰 (正会員)
芹澤 勇 (正会員)
高田 房美 (正会員)
高橋 銀子 (正会員)
中村 三枝子 (正会員)
法師 励 (特別会員)
松本 男雄 (正会員)
門原 健男 (正会員)
矢口 茂雄 (正会員)
渡邊 慎吾 (正会員)
秋山 補男 (正会員)**

監 事

**事務局職員
事務局長 (兼業務執行理事 常務理事) 森田 旭
事務局次長 池島 直人
業務担当主任 的場 雄太
家事援助事業主任 安藤 良子**

年頭の挨拶

公益社団法人入間市シルバー人材センター

代表理事 理事長 大坂 隆俊

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。



また、平素は当センターの事業活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申しあげます。

お陰様で当センターの受託事業や入間市と国から頂く補助金などを合わせた平成28年度の経常収益も、昨年末現在で微増ではあります、一昨年同期をわずかに上回る状況にあります。このことは、会員皆様のご努力の結果と市役所様をはじめ、

市内の企業様、そして市民の皆様方のご支援、ご理解あつての事であり、心から感謝を申し上げる次第であります。

シルバー人材センターを取り巻く環境も年ごとに変わってきており、このところの労働力不足から、定年後の高齢者に、もう一度力を貸して欲しいという状況も現れ、改めてシルバー人材センターへの関心と期待が寄せられているところであります。

このような中で昨年、入間市が市制50周年を迎え、当センターにも記念行事に伴ういろいろな協

力の要請がありました。5月と9月に行われたウオーキング大会での受付やルート案内、ゴール地点での食事の提供、そして、入間万燈まつり中に行われた祝賀花火の後のゴミ拾いなどでありました。当センターでは、地域班を中心に多くの会員と事務局職員など、総勢100名を超える方が積極的に参加してくださり、主催者側の関係者より高い評価と感謝の言葉を賜りました。

これからも当センターが安定的に発展していくためには、市役所様をはじめ、多くの支援者、地域住民の方々と強い信頼関係を築いていくことがとても大切なことだと思います。

さて、昨年の総会において、私たちは今年度の目標として、就業開拓推進や事務局体制の強化、人材派遣事業の促進、新規会員の増強、人材バンクの創設、安全就業と適正就業管理の一体化など、現在抱えている問題や将来の発展に欠かせない課題を掲げ、事業の運営にあたっております。

また、一昨年発足した輝く女性の会（愛称「さくらんぼ」）も、料理や手芸、健康などの講習会を開催し、また、入間万燈祭りやいるま生涯学習フェスティバルへ出店参加するなどの活動を繰り広げ、大きな成果を生み出してきております。センターとしましても、更なる協力、支援をしていきたいと思います。

シルバー人材センターは、高齢者が働くことを通して健康と生きがい、社会参加をすることで、地域社会へ貢献していくことをする組織です。冒頭にも触れたように、市や国より補助金や就業機会

の提供など、多大な支援を頂いて成り立つております。私たち全会員は、このような恩恵を忘れずに、責任と誠意ある対応をしていかなければならぬと思います。

最後になりますが、会員の皆様は先ず健康と怪我などに十分に注意なされ、益々のご活躍をご祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

「シルバー人材センターの皆様へ」

入間市長 田中 龍夫



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかげま

しては、お健やかに平成29年
年の初春をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

また、日頃より市政の発展のために格別なご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年の市長選挙では、2期目の当選を果たさせ
ていただき、その重責をつくづくと感じております。

65歳以上の人口は、平成27年の総人口に占める
割合が、
26.7% (総務省統計局より) と平成26年と

比較して0.8%増加しており、国民の約4人に1人が65歳以上の高齢者となっています。このこと

から、労働人口減少による労働力確保が急務となつており本市も同様の課題を抱えております。超

高齢社会に対応すべく、今後の市民生活をさらに
より良く進めていくために、健康で働く意欲のある
高齢者の就労の場の確保や生きがいの創出、地
域貢献等、貴センターに期待するところは大きく、
高齢者福祉の向上と地域社会の活性化に向けたさ
らなる取組みをお願いいたします。

現在のところ、貴センターに対しましては指定
管理や市の委託業者をお願いしているところであ
ります。また民間からも業務委託や市民の方々の
お仕事を請け負われており、事務局職員の誠実な

対応と会員の皆様の丁寧な仕事内容により高い評
価を得ていることに深く敬意と感謝を表すもので
す。

会員の皆様方におかれましては、今年もお元気
で各方面でご活躍いただくとともに、豊富な知
識、経験を生かし、本市発展のため入間市政の良
きパートナーとして、協力賜りますようお願い申
し上げます。

結びに、貴センターのますますのご発展と会員の
皆様方のご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げ、
年頭のご挨拶といたします。

* 理事会開催状況 *

第6回 平成28年9月29日

審議事項

- 新入会員の承認について
- 平成27年度剰余金の費消計画について
- 第2回元気な入間ウォーキング大会開催計画
(案)について
- 第8回元気な入間文化祭開催計画(案)につ
いて

業務執行状況並びに一般報告事項

- 適正就業への取り組みについて
- 万燈祭り参加について
- 第2回親睦交流旅行実施結果について
研修 (適正就業ガイドライン)について
- 第7回 平成28年10月27日

審議事項

- 新入会員の承認について
- 訴訟事案の対応について

業務執行状況並びに一般報告事項

- 退会者について
- 入間万燈祭り参加について
- 財務に関する執行状況について
- 代表理事、業務執行理事の業務執行状況報告

委員会報告

総務委員会

委員長 森田 旭

総務委員会は、平成28年9月1日付で新たに10名の委員が委嘱され、2年間の任期で活動することとなりました。

委員構成は、委員長森田旭、副委員長高田房美、委員池上久雄、大久保英美子、熊懷康彦、坂口邦子、佐藤靖子、鈴木吉峯、向山守、渡辺男也、事務局高山京子（敬称略）です。

委員会の役割は、幅広く、様々な課題が与えられていますが、当面進めている事項として、①新規会員入会促進を図り、就業会員を確保すること。

②研修計画を策定すること。③第2回元気な入間ウオーキング大会を開催すること。④第8回元気な入間文化祭を開催すること。などです。

ウオーキング大会・文化祭開催については、それぞれ、実行委員会を組織し、参加者募集など奮闘中です。

皆さんのご協力と、積極的な参加によって、有意義なイベントとなることを期待しています。

又、昨年も好評をいただいた、「親睦交流旅行」については、第3回の開催に向けて検討を進めています。ご意見がございましたら、事務局までお寄せください。

安全・適正就業委員会

委員長 松本 勇雄

平成二十八年九月の理事会において委員会見直しがおこなわれ、安全と適正就業が同一委員会に属することが決定いたしました。就業に際しては、安全が確保され、なおかつ適正就業が求められました。当委員会（新メンバーは副委員長に阿部美津子氏、委員に青木弘氏、堺謙治氏、竹井正輝氏、本田健氏、山口和良氏、戸川俊行氏、福田康男氏、事務局に岡口正男氏の総勢10名です）は、安全・健康に関する講習会、各就業先のパトロールを実施、適正就業に関しては研修会を企画、よりよいシルバーセンターを目指す所存です。

安全に関しては、十月二十日駅駐輪場パトロール、植木剪定現場視察、十一月八日健康講習会（家事援助対象）、十一月十日救命講習会（AED）公共関係者対象を実施。適正就業に関しては、九月に厚生労働省職業安全局長からシルバー人材センター適正就業ガイドライン資料が示され、当委員会として適正就業遵守に継続して取り組んでいく所存です。当面、十二月十六日公共関連の班長、副班長を対象に講習会を実施、二月二十日民間企業班長、副班長を対象に講習会を実施します。平成二十九年度も、皆様に役立つ企画を盛り沢山実行していこうと思いますので会員の皆さまの一層のご協力をお願い致します。

地域班活動委員会

委員長 渡邊 慎吾

市民との交流

第二十四回 やまゆり長寿フェスティバル
九月三日（土）

出店（焼そば、カレー）
協力者三〇名

第三十八回 入間万燈祭り（十月十九日、三十日）
①出店（三色もち、豚汁、甘さけ）販売

②行列行進に参加

アナウンス嬢の軽快な説明に誘い込まれる

ようすに阿波踊り愛好会十一名のメンバー先頭に踊りながら行進しました。堂々と優美な姿が

市民に感動を与えたことだと思います

③市制五十周年記念祝賀花火打上げ後の

清掃作業

a五十名体制（総指揮森田常務理事）

b任務分担

作業班 十名、五個班編成

一個班中に班長一名指名

作業現場では班長の指示に従って任務を行なった。

c作業開始

十月三十日（日）午前六時
(集合は五時五十分)

d場所

入間市「彩の森公園内・付近」シルバーサンセンターの会員は公園の奥の隅々までくまなく清掃作業を実施した。ゴミはトラック一台分集めた。

独自事業推進委員会

委員長 矢口 茂雄

入間市の総人口は平成二十八年十月末現在14万9140人。増減があるもののやや減少傾向にある。その内六十歳以上は79,772人、全体の33%、六十五歳以上は39,354人、全体の26%にあたる。高齢者が年々増加傾向にあり、複雑化する社会において高齢者対策が必要と思われる。

これらに対応するため将来シルバー人材センターが重要な位置づけになると思われる。入間市シルバー人材センターでは平成二十八年九月から新しく独自事業推進委員会を立ち上げました。

第一回委員会においては、今後の活動方針を話し合いましたが委員においても問題点等を模索するところです。

第一回委員会においては独自事業別の現状の把握が必要とのことで事務局長から現在活動している植木班、障子・襖張り班、すぐやる作業班、家事援助班、草取り班、便利な直し屋さん、パソコン教室、ステップアップ教室、英会話教室等の詳細な説明を受けました。今後これらの困りごとの改善、問題の解明をし、より良いルール作りをし、また新たな独自事業の開拓をし、魅力があり、健康で元気なシルバー人材センターのお役に立てばと思っております。

会員募集委員会

委員長 門原 健男

平成二十八年度会員募集委員会は、九月一日付で会員七名事務局員一名の八名でスタートしました。昨年度からの継続は私一人だけで他は全て入れ替わり、新しい船出となりました。過去二年間の活動実績を振り返ると共に、単にこれまでのやり方に捉われる事無く、新鮮な感覚で新たに活動方針及び行動計画を策定すべく早速九月と十月の二回委員会を開催し、これまでの会員数動向や入会動機、退会理由の最近の動向等のデータ分析を行いました。その結果、図1に示すように過去数年間

の会員数減少

図1

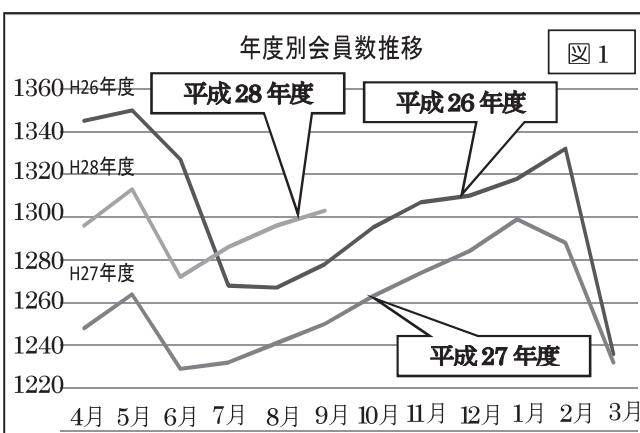
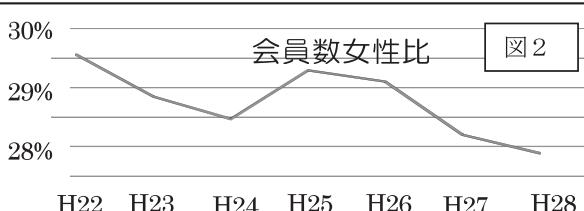


図2



傾向は改善され、平成二十九年度に入り上半期を過ぎた時点でも上昇傾向に転じた事が伺え、順調に上昇し九月末で前年度及び前々年度同期を上回る一千三百人に達しました。この傾向は入間市内

のシルバー年代市民の生活環境や意識の変遷も考えられますが、前年度までのシルバー人材センターの全般的な活動及び会員募集委員会活動の成果が少し現れてきていると思われます。一方、女性会員数の動向を見ると、図2に示すように減少傾向が改善されず、会員数全体の二十八%程度までになっています。女性の求人は減少することなく、逆に増加しており、これを改善することは必須となっています。その手段として昨年、輝く女性の会「さくらんぼ」が発足しました。その成果とも思えますが図3に示したように、今年度に入つて女性の入会動機に変化が見えてきます。昨年度までの入会動機は経済的理由がダントツでしたが時間的余裕と共に比率が減少し、健康維持・

増進の比率が約二倍に増えて四十五%を超える、第一の理由となっています。これは、女性会員を増やすと共に、会員募集活動の大きな宣伝文句として活用できそうです。これらのデータ分析結果をもとに、次回からの委員会において、具体的な活動方法を検討し、効果の期待できる活動を展開していきたいと考えています。昨年度までの会員募集委員会活動は理事の方や地域班役員の方達に絶大なご協力を頂き、そのお陰様により少し成果が出始めた感がありますので、今年度におきましても引き続き絶大なご支援とご協力を宜しくお願い致します。

広報委員会

委員長 澤田 彰

はじめに広報委員会と言うのは御存知かと思いますが「いるまシルバーだより」を発行している委員会のことです。

平成二十八年九月をもつて広報委員が替わりました。ここから二年間新たな委員が担当して参ります。新メンバーは副委員長に芹沢勇氏、委員に山西素直氏、大橋とし子氏、真田秀一氏、平田ゆきえ氏、中尾洋子氏、事務局に的場雄太氏の総勢八名です。十月十二日には第一回目の委員会を開きました。委員が前任者三名から八名になりましたので今までのシルバーだよりの良い点、改善点について意見を交わしました。そんな中から文字数を絞る、見出しの工夫、会員とつながるようなコ

ーナーを設ける等の意見が出され、もっと会員から身近に感じられる広報を目指して行きましょう。と同時に会員の皆様と一緒に頑張っております。と、同時に会員の皆様も広報委員会を友達と思って身近な情報をどしどしお寄せ頂きたくご協力をお願い申し上げます。勿論、情報の受け入れ先は用意しておきます。

輝く女性の会（愛称..さくらんぼ）

会長 高田 房美

公益社団法人入間市シルバー人材センター輝く女性の会（愛称さくらんぼ）は、発足して早や一年六カ月が経過し、活動報告ができるることを嬉しく思います。

四月から十一月までの活動の様子を紹介させていただきます。

- 一、「さくらんぼ通信」の発行
- 二、ボランティアで花植え（四月）
- ①シルバー人材センター内
- ②施設「ゆりの木」



さくらんぼの会行事参加者募集

一、パン作り（ナン・むしパン）
日 時 平成二十九年一月二十四日（火）
午後一時三十分～

場 所 シルバー人材センター会員交流ホール
参加費 三百円

申込締め切り 一月二十日（金）
* 女性会員の皆様の参加をお待ちします。
* 募集人員 二十名

☆ 一月、三月の予定
は現在未定です。

近くなつたらお尋ねください。



九、いるま生涯学習フェスティバル参加（十二月）

（入間市産業文化センターにて）

十、九月には全国シルバー人材センター協会が発行している「月刊シルバー」に輝く女性の会（愛称さくらんぼ）の活動を紹介していただきました。事は（愛称さくらんぼ）にとつて大変光栄なことだと思っております。又、「月刊シルバー」を読まれて福岡市のシルバー人材センターから女性の方が当センターに訪ねられ、私たちの輝く女性の会（愛称さくらんぼ）の発足までの話をさせていたしました。

☆就業開拓員の紹介☆

当センターで皆さんの就業先を開拓し就業先を案内している開拓員を紹介します。

仕事先の情報や、相談など担当者と直接話ができると、連絡もスムーズに出来るとおもいます。

○近藤 照文



○須田 敏男



○吉川 徹



○大屋 裕



○飯島 則夫



○木村 邦造



連絡先: 04-2934-5350

勤労福祉センターとシルバーアイテムセンターには常時下の写真の様な就職情報が提示されています。何かの折、お見えになったときはご覧になってください。シルバーによく顔を出すことが仕事を見つけやすいと思います。



毎週就業相談会を開催しています。

毎週水曜日(第五週は無し、祝日も休み)
時間は午後一時三〇分から

場所は勤労福祉センター大會議室
仕事先の情報や、相談など担当者と直接話ができる

☆就業開拓員からの情報☆

仲間の職場紹介コーナー ◇

黒須市民運動場で就業する仲間

今回は黒須市民運動場で就業している仲間を訪ねました。こ

こは、入間川

河川敷に

あります。

今年の二月七日第一回

黒須市民運動場の仲間元気な入間ウォーキング大会を開催したところです。



スタート地点でありゴール地点でした。

この施設の面積はおよそ十万五千平方メートル、

①テニスコート10面、②野球場2面、③サッカーフィールド、④ソフトボール場、と豊水橋を挟んで両方に広がり多方面の利用に対応できる広大な面積の施設です。毎週金曜日は、祝日の場合を除いて、利用者が常に快適に使用できる状態に保つための整備日になつております。この施設を九名の会員が、朝七時半から十七時迄、早番・中番・遅番の3シフトを組み、スケジュールに沿つて手際よく就業しています。

金曜日の整備日はいつもより大変だうと思いま

ます。グランドを念入りにチエックし小さな穴があつたら埋め戻すとか、小石があれば拾つたりとか、当然雑草があれば抜いたりとか使用者が事故しないよう、快適に使用できるよう、より一層の注意を払い作業をしなければなりません。

この就業場所は日陰のない屋外です。グラウンド周りの植木の剪定や、夏場の炎天下での就業、

また、秋になればグランド周りや川沿いの通路に落ちた膨大な落ち葉の清掃作業、早め早めに落ち葉集めをしないと風むきによつてはグラウンドに吹き込んでしまいます。落ち葉集め作業はスピードを以つて行わなければなりません。そして冬は大変です。河川敷だから遮るものはありません。冬場の寒風吹きすざぶ中での就業はとても厳しい事だと思います。

今回は就業場所が屋外のみ、屋内での就業がないという数少ない就業先を紹介しました。

地域班・職群班・サークルなど

各グループからの活動報告

豊岡東部地域班「親睦ボーリング大会」を実施

地域班班長 川上 功

豊岡東部地域班は会員総勢159名(平成二十八年十月一日)を擁し、班長、副班長二名、分会長十二名の体制で活動しております。平成二十八年度の活動計画ではセンターの計画するそれぞれの行事には積極的に参加する一方地域班独自の計



ボーリングのあと?皆さん勢揃い

画として会員と市民との親睦を図るため「ボーリング大会」を年二回と年末に「忘年会」を計画しております。今年度第一回目のボーリング大会として十月初旬を中途に準備を始め、十月一日十三時三十分から市内「サイオスポーツ」を会場として開催しました。今回は回を重ねて四回目を迎えて

参加者は十八名になりましたが特に会員以外の参加者が七名と幅広い皆様の参加を頂き会を盛り上げて頂くとともに、親睦を深めることができます。初めに中山会員とゲストの高山さん、池島さんの三名による始球式でスタートしました。第一フレームストライクでゲットする等、盛り上がる中、全員一ゲームを完投しました。結果は

優勝 関崎 勝利様

準優勝 池島 直人様
三位 佐藤 節子様

となりました。

以上の成績で図らずも会員、事務局職員、市民とそれぞれ入賞し、初期の目的を達成することができます。参加者一同次回への期待を胸に和やかなくうちに大会を終了しました。皆様の参加をお待ちしております。

東金子地域班「親水公園で花見」

東金子地域班班長 近岡 松三

先ず桜の花を見て、酒を飲まなければ新年度が始まらないとのことで、花見をしました。初めての試みでもあったので、会場近辺の会員と役員を中心に行いました。日は四月二日、場所は『あらく親水公園』です。この公園は霞川沿いの静かで美しく小じんまりと落ち着いた所です。自作の料理が差し入れられ、賑やかな集いででした。

次いで春のグランドゴルフ大会です。場所は新久小学校校庭を借りて行う関係上風薫る五月とはいからず、七月三日となりましたが、晴天に恵まれ、

は割愛です。
地域班活動として、防犯活動に協力し学童の下校時の安全のため立哨活動を毎月二回行なっています。退会されたOBの方々も協力してくださり、十五名がボランティア参加しています。学童側からは、感謝の集いを催し自分たちが育てた草花の鉢を贈つてくれるなど地域との絆を築く力となつています。



市民の皆様からの寄稿

「シルバーの塗られもどこりしょに」

熱中症

弊社は、首都圏を基盤とするスーパーであります「株式会社いなげや」の100パーセント子会社として、平成二十五年一月十四日に東京都西多摩郡瑞穂町駒形富士山を事業所拠点として設立いたしました農業会社です。

私は、設立時より農場長として季節の野菜生産に携わっております。私どもは、「直接生産による顔のみえる商品づくり」「地産地消の推進による地



野菜収穫後のひと時を皆さんで

謝申し上げます。

現在の私どもの社員は、二十代から四十年代までが中心でありシルバーの皆さんには一緒に仕事をするとともにちょっとしたことから人生の先輩としての経験や体験などのふれあいができる、仕事への気使いや双方向のコミュニケーションもでき、とてもいい雰囲気になっているかと感じております。この場所を借りましてシルバーの皆さんに感

シルバーの皆さまにおかれましては、季節の野菜毎に収穫された野菜の加工から商品パックまでを主にお手伝いしてもらっております。春は春力ブ、菜花、枝豆、夏はオクラ、秋冬は長ネギ、秋冬力ブ、人参などを中心に携わってもらっております。今や、シルバーの皆さまがいないと野菜の出荷が出来ないほどにまでなつております。非常に助かっています。

私どもは、これからも持続的に地域で「食べて頂けるお客様に笑顔を」をモットーに精一杯、野菜生産を通じてひいては日本の食文化を守つていけるような取り組みを目指してまいりたいと思っております。そんな中で、シルバーの皆さまがたとはこれからもいっしょになつて野菜生産のお手伝いを頂くとともに地域の活性化の一助になつていければ幸いかと思つて次第です。

親睦交流旅行に参加して

【群馬・沼田方面旅行】

1号車 龜岡 清充

私は妻と共に、昨年の鎌倉・江ノ島方面への旅行に続いて、参加しました。前日まで気がかりだった空模様が快晴となりました。朝は時間通りに入間インターより圈央道から関越道、上里SAの休憩時間までは順調に進みました。沼田では、大河



誉国光酒蔵前での記念写真（1号車のみなさん）

て陳列品や資料等で、良い勉強ができました。写真を撮る人や、土産物などを買う人もいて有効な時間を過ごしました。沼田市内の大きなレストランで地元特産の料理をとても美味しく頂きました。気がつけば周りの景色はリンゴの木が、たくさん植えてあり群馬県ではこんなにリンゴが栽培されているのかと考えを新たに致しました。最後の酒蔵誉国光を出発する時アクシデントがありまして2号車より少し遅くなりました。食後のデザートよろしく、また果実酒を味わい、顔を朱に染めた人もおられました。この酒蔵で、記念写真を撮りましたので後日が楽しみです。予定通り帰路につきました。帰りはビンゴゲームで盛り上がり、私は木彫りのお地蔵様を頂きました。その仏様には今日も一日を無事過ごせましたと、報告致しています。ビンゴゲームが終わっていよいよ世話役の森田さんの出番です。お手製の「歌声喫茶の本」を中心にカラオケの時間となりました。妻は初めて「川の流れのように」を歌いました。そして皆さんとの良い歌声で盛り上がり充分に楽しみました。一日楽しく、皆さんと共に過ごせました事を感謝します。1号車の世話役の方、森田さんや役員の方々にお世話をうけた上で御礼申し上げます。来年の旅行も楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

ドラマの人気と相まって上州沼田真田丸展が大々的に催されていました。資料館では、学芸員もい

て陳列品や資料等で、良い勉強ができました。写真を撮る人や、土産物などを買う人もいて有効な時間を過ごしました。沼田市内の大きなレストランで地元特産の料理をとても美味しく頂きました。気がつけば周りの景色はリンゴの木が、たくさん植えてあり群馬県ではこんなにリンゴが栽培されているのかと考えを新たに致しました。最後の酒蔵誉国光を出発する時アクシデントがありまして2号車より少し遅くなりました。食後のデザートよろしく、また果実酒を味わい、顔を朱に染めた人もおられました。この酒蔵で、記念写真を撮りましたので後日が楽しみです。予定通り帰路につきました。帰りはビンゴゲームで盛り上がり、私は木彫りのお地蔵様を頂きました。その仏様には今日も一日を無事過ごせましたと、報告致しています。ビンゴゲームが終わっていよいよ世話役の森田さんの出番です。お手製の「歌声喫茶の本」を中心にカラオケの時間となりました。妻は初めて「川の流れのように」を歌いました。そして皆さんとの良い歌声で盛り上がり充分に楽しみました。一日楽しく、皆さんと共に過ごせました事を感謝します。1号車の世話役の方、森田さんや役員の方々にお世話をうけた上で御礼申し上げます。来年の旅行も楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

2号車 阿部 美津子

二号車のバスはいくつかの集合場所に立ち寄り、

全員揃つて無事出発しました。車内では、飲物などが手際よく配られた後、進行役の沢田さんと向山さんの息の合った司会でみんなを楽しませて頂きました。バスの運転は年配者に配慮して頂き、車に弱い私でも酔うことなく快適に過ごせました。目的地の真田丸展示館は市街地にあり、ここが？



誉国光酒蔵前での記念写真（2号車のみなさん）

と思いましたが、聞き覚えのある武将達の書簡や甲冑などの陳列品はさすがに見応えがあり、大河ドラマ真田丸に出演している俳優さん達の色紙も多数展示され、多くの見物客で賑わっていました。買物等を楽しんだ後の帰りのバスで唄つた「ふるさと」は、今でも心に残っています。旅行を企画・運営された皆様本当にありがとうございました。

『入間万燈まつり』に 参加しました

節目に出店団体の代表として壇上で扇子を受け取りました。『これはたいへん名誉なこと』と森田事務局長は感激していました。

入間万燈まつり
が十月二十九日
(土)～三十日(日)
に開催されました。
今回は「市制
施行50周年記念事
業」でもあります
た。当センターも各
行事に参加しま
した。

まつりの最初に
産業文化センター
で「祝い開き」が
行われ、50周年の
初めで心配もありま
したが、2日間とも完売し皆で喜び合いました。
た。今年は一般会員の方達にもお手伝いをして
いただき、和やかに販売ができたことを
楽しく思っています。

ただ販売をしている場所が分からないとの
ご指摘があり、大きなのぼりを出せば良
かったかと反省しております。今後はより
多くの女性会員に参加していただけるよう
にと役員一同願っています。



シルバー人材センターは
三色もち、豚汁、甘さけの
販売をしました。

産業文化センターで行われた
「祝い開き」では当センターの
森田事務局長も挨拶しました。



輝く女性の会(愛称:さくらんぼ)
もフランクフルト、じゃがバタ、
小物等を売っていました。

★第8回 元気な入間文化祭

開催について★

第8回元気な入間文化祭の開催について、今年度の事業計画に基づき、次の要領で開催されます。実行委員会が組織され、準備作業が進められます。今回、50名の会員が実行委員として委嘱されました。開催概要は、昨年10月1日発行の会員の皆様へお知らせにて既にご案内しています。現在、決定されている事項について、改めてお知らせいたします。

●開催日 平成29年3月11日(土)～12日(日) 2日間
作品搬入・会場準備 3月10日(金)

●会場

入間市勤労福祉センター
入間市シルバー人材センター

① 作品展示の部

写真・絵画・書道・編み物手芸等
陶芸・華道・工芸・俳句や短歌・絵手紙などの作品を展示します。

会場の制約があるので、大型の作品はご遠慮願います。

② パラエティーショーの部

サークルの発表・就業会員体験発表・ミニコンサ

ート・樂器演奏・民謡・踊り・カラオケ・童謡・コ―ラス・ダンス・その他の芸能で、市民の皆さんと楽しめる舞台を創造します。

③ 出店の部

焼きそば・うどん・そば・農産物・他各種模擬店（会員・地域班などの出店で構成）

第8回元気な入間文化祭実行委員会が、企画・運営に当たります。

● 作品の出品・出演・出店の申し込み等

☆ 申し込み締切日 一月三十日(月)

※ 申込書は、センター窓口にあります。

☆ 作品の搬入日時 三月十日(金)

☆ 作品の搬出日時 三月十二日(日) 午後四時

午後一時から午後四時まで
の文化祭終了時から搬出してください。

※ 昨年度早くに搬出されたことについて、参加者から改善を求める批判がありました。

厳守していただきます。

会員数

(平成28年12月10日現在)

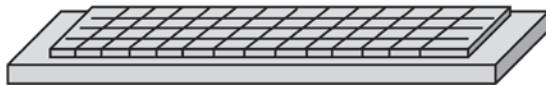
男 944名 計 1,310名
女 366名

発行所

公益社団法人
入間市シルバー人材センター
〒358-0014
埼玉県入間市宮寺4102-288
TEL 04-2934-5350(代)
FAX 04-2934-5307
E-mail iruma@sjc.ne.jp

事務局からのお知らせ

事務所のパソコンが新しくなりました。
Windows Vista から
Windows10 に替わりました。
セキュリティーが向上します。



編集後記

あけましておめでとうございます

平成二十八年九月から広報委員のメンバーが大きく替わりました。三名から八名と増え、女性が三名も加わりました。

これからいるまシルバーだよりが守備範囲の広がり、内容や雰囲気の変化も充分期待できると我々は考えております。

とは言え、実は大変なことでした。メンバーは多いものの経験者は一名だけ、まずは全員集合でどうしようとの委員会、その後は原稿依頼、取材活動、写真撮影、原稿の収集、「いるまシルバーだより」の構成、編集と、約三ヶ月心の休まる時はありませんでした。本号が纏まつたときはほんとにみんな一安心でした。自分たちで作って見ると前任者の苦労が良く判ります。我々は頑張りますし、新しいことにも挑戦しますし、皆さんとの繋がりも密にしていこうと思つております。いろいろな情報を我々のところへも教えて下さい。

今回から「みんなの広場」コーナーも新設しました。会員同士の繋がり、会員のためのシルバーだよりになると良いと思っています。皆さんも今年は何か新しいことに挑戦してみてください。

今年も健康で、明るい良い年であります様お祈り申し上げます。（広報委員会一同）

第2回元気な入間ウォーキング大会

参加者募集

平成28年度事業計画に基づき、第2回元気な入間ウォーキング大会を次の要項のとおり開催します。
会員と市民の皆さんにご参加いただき、ウォーキングを楽しみたいと思います。

参加申込締切：1月20日（水）事務所受付・電話申込

☎04-2934-5350

第2回元気な入間ウォーキング大会開催要項

開催期日	平成29年2月5日（日）小雨決行 受付：午前8時30分～
開催会場	入間市黒須市民運動場自由広場（豊水橋下入間川河川敷運動場）
コース	入間川遊歩道 往復10km 午前9時スタート 完歩者に「完歩証」交付
参加費	一人 300円（保険料等）当日集金（中学生以下無料）
持ち物	水筒・雨具・嗜好品
お楽しみ	中継所にて「あたたか～い甘酒」・ゴール会場にて「おいしい焼きそば、すいとん」 無料サービス・抽選にて記念品贈呈
会場案内	入間市駅北口から徒歩15分程・豊水橋下河川敷駐車場利用可
募集人数	300名 当日参加可
参加申込	1月20日（金）まで、①センター事務所受付 ②電話申込（氏名・住所・電話）
主 催	公益社団法人入間市シルバー人材センター
コース	入間川遊歩道 黒須市民運動場自由広場スタート——文化創造アトリエ・アミーゴ（中継所）——阿須運動公園——折り返し——文化創造アトリエ・アミーゴ——黒須市民運動場自由広場ゴール

お問合せ・連絡先

公益社団法人入間市シルバー人材センター・

第2回元気な入間ウォーキング大会実行委員会

〒358-0034 入間市宮寺4102-288 ☎04-2934-5350

緊急連絡先 090-2443-2714（森田）

昨年度の第1回の開催体験を生かして、より楽しい、有意義なウォーキング
大会にしたいと思います。

寒さに負けず！ 会員全員参加で！

みんなの広場

ついている話

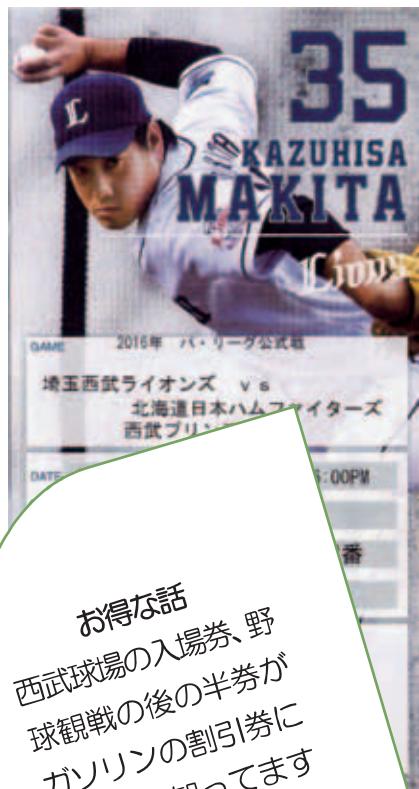
シルバーからもらったチケットで野球観戦に行ってきました。
その日はパリーグの優勝決定戦になりました。
決定的瞬間を見られてついていました。



うれしい話

松本勇雄氏が陶芸展で入選

2016.9.17「笠間陶芸の森」で開催の【かさまアマチュア陶芸大賞展2016】で見事入選を果たしました。出品作品は《マグカップ》でした。氏はシルバーセンターの文化祭を始め広くの場所で活躍しております。



2017年の話
西武球場での野球観戦にみんなで行きませんか。
今年はみんなで一緒に行く観戦ツアーを考えています。
テレビもいいけど生で見るのはもっといいですよ。広報を見たら事務局までご一報ください。
多数の参加が望めそうなら企画を考えます。
(総務委員会)

みんなの広場事務局より

皆さまからの投稿をお待ちしております。

文芸(詩、俳句、短歌、川柳)、日頃体験した諸々のこと(面白いこと・うれしいこと・お得なこと等)教えて下さい。
みんなの広場にして行きましょう。
連絡は下記にお願いします。

広報委員会委員長

澤田 電話: 090-2473-2816

広報事務局 的場 電話: 04-2934-5350

お得な話
西武球場の入場券、野球観戦の後の半券がガソリンの割引券になるのを知っていますか?

国道16号の宇佐見ガソリンスタンドで有効です。リッター5円の割引となります。(2016.9月の話)